

議 事（２） 令和５年度宮城県美術館事業の実施結果について**① 開館中に実施した事業****１ 美術作品等の展示****（１）常設展示**

リニューアルのための長期休館直前の展示となるため、本館、佐藤忠良記念館ともに当館の所蔵品の特徴を示すコーナーを設け、代表作を一堂に紹介する展示を行った。

「リニューアル直前！宮城県美術館の名品勢ぞろい！」

[4.19（水）～ 6.18（日）]

イ 本館では、次のコーナーを設け、明治から現代までの当館所蔵の代表的な作品を公開した。

（イ）ありがとう山脇百合子さん

（ロ）日本の近現代美術名作選

（ハ）洲之内コレクション 絵のなかの散歩、気まぐれ美術館の代表作から

（ニ）ドイツ表現主義美術の名作 クレーとカンディンスキー

ロ 佐藤忠良記念館では、次のコーナーを設け、佐藤忠良の代表的な作品を公開した。

（イ）佐藤忠良の彫刻の代表作

（ロ）佐藤忠良の素描の世界

（２）特別展示

長期休館前の最後の展示として、仙台市博物館との共同企画を開催し、地元仙台に伝わる国宝、重要文化財をはじめとする貴重な作品の鑑賞機会を提供した。

「第40回全国都市緑化仙台フェア開催記念

伊達政宗と杜の都・仙台—仙台市博物館の名品—」

[4.26（水）～ 6.18（日）]

２ 教育普及活動

開館中は「いつでもだれでも」利用できるオープンアトリエとしての創作室の運営や、子どもから大人までをそれぞれ対象にした造形や創作に関するワークショップの実践を通じて、美術館や美術の普及を図るとともに、各種講座や講演会の開催や、ギャラリー・トーク等を行うことにより、親しみのある美術館としての定着に努めた。

（１）通常活動

「美術なんでも相談」や「オープンアトリエ」の運営、展示解説や美術探検等を通じた鑑賞教育プログラムについては、開館日の通常活動として実施した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために閉鎖していた「造形遊戯室」を5月中旬から再開して運営した。これらを通して、県民が日常の中で美術館を訪れ楽しむことができる場となるよう図った。

(2) 特別活動

イ 公開講座

子どもから大人まで幅広い世代を対象に、美術文化に関する教養と情操を高めるよう、「実技ワークショップ」（全6回）や「どようびキッズ・プログラム」（全3回）を実施した。

ロ 美術講座

(イ) まちなか美術講座

地域住民を対象とした館外での社会教育事業として、「まちなか美術講座」を東北工業大学と連携して、同大学一番町ロビーにおいて開催した。

例年どおり年4回実施する計画のうち、開館中に1回実施した。

※残り3回は休館に入ってから実施した。

(ロ) みやぎ県民大学

「みやぎ県民大学」の一環として、リニューアルによる休館を目前に当館のコレクションに関する講座を2日連続で実施した。

(ハ) 美術館講座

外部講師を招き「日本画」をテーマとした「美術館講座」（全2回）を実施した。

(3) 特別展開連事業

イ 講演会

特別展に関連した講演会（1回）と屏風作りのイベント（全3回）を実施した。

ロ 展示解説

特別展に関連した展示解説（全3回）を実施した。

(4) コレクション展示ギャラリー・トーク

イ コレクション展示に連動させたギャラリー・トークを展示室等で実施した。例年は毎月2回程度の頻度で実施していたが、令和5年度はリニューアルに伴う休館となる前に集中して約2か月の間に全10回実施した。

② 休館中に実施した事業

1 美術作品等の展示

(1) 所蔵品展示

所蔵品の巡回展示を実施した。

イ 「宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界 2022-23」

三重県立美術館 [10. 7 (土) ~ 12.10 (日)]

(2) 高精細レプリカ展示

県内施設で高精細レプリカの展示を実施した。

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| イ 宮城県庁 1階ロビー | [7. 3 (月) ~ 7. 7 (金)] |
| ロ 宮城県図書館 | [7. 4 (火) ~ 12. 24 (日)] |
| ハ 東北歴史博物館 | [1. 4 (木) ~ 4. 11 (木)] |
| ニ 東北工業大学一番町ロビー 1階ギャラリー | |
| 「まちなか美術講座特別事業 高精細レプリカ美術館」 | [2. 9 (金) ~ 2. 20 (火)] |
| ホ 宮城県庁 1階ロビー | [2. 26 (月) ~ 3. 1 (金)] |

2 教育普及活動

(1) 特別活動

イ 公開講座

(イ) 出張創作室

県内外施設3か所(大衡村、栗原市、角田市)を活用し、「出張創作室」(「キッズ・プログラム」「ワークショップ」「オープンアトリエ」をパッケージ化したもの)を実施した。

(ロ) 出張キッズ・プログラム

県内2か所の自然の家で、外部講師による子ども向けワークショップ「出張キッズ・プログラム」を全2回(蔵王町、南三陸町)実施した。

ロ 美術講座

(イ) まちなか美術講座

地域住民を対象とした館外での社会教育事業として、「まちなか美術講座」を東北工業大学と連携して、同大学一番町ロビーにおいて開催した。

例年どおり年4回実施する計画のうち3回を休館に入ってから実施した。

ハ 学校との連携事業

(イ) 学校アウトリーチを7広域圏で13回実施した。

(ロ) 東北大学病院院内学級で出前授業を1回行った。

ニ 各種生涯学習講座

外部団体からの依頼による作品解説や鑑賞活動、研修会等を全8回実施した。

(2) 展示事業に伴う講演、解説

所蔵品展示、高精細レプリカ展示の会場にて、講演会や展示解説等を実施した。

③ 年間を通して実施した事業

1 美術作品等の収集・保存

基礎調査と美術品収集専門部会の審議に基づいて、美術作品等の収集を行ったほか、美術作品等の保存にも努め、専門の修復工房等による修復を行った。

2 美術に関する調査・研究

美術館事業を充実させるための基礎となる所蔵作品の調査・研究のほか、作品の展示方法、保存・整理及び教育普及活動等に関する調査・研究を継続的に実施した。